

日本労働組合総連合会第二回全国大会開催の経緯  
 日本労働組合総連合会は、昭和十一年三月に、東京市千代田区千代田の日本労働組合会館において、第一回全国大会を開催した。この大会は、労働組合の発展と労働者の権利の擁護を目的として、全国各地から労働組合の代表者が集まり、重要な決議を行った。

第二回全国大会は、昭和十二年三月に、東京市千代田区千代田の日本労働組合会館において開催された。この大会は、労働組合の発展と労働者の権利の擁護を目的として、全国各地から労働組合の代表者が集まり、重要な決議を行った。

第三回全国大会は、昭和十三年三月に、東京市千代田区千代田の日本労働組合会館において開催された。この大会は、労働組合の発展と労働者の権利の擁護を目的として、全国各地から労働組合の代表者が集まり、重要な決議を行った。

第四回全国大会は、昭和十四年三月に、東京市千代田区千代田の日本労働組合会館において開催された。この大会は、労働組合の発展と労働者の権利の擁護を目的として、全国各地から労働組合の代表者が集まり、重要な決議を行った。

第五回全国大会は、昭和十五年三月に、東京市千代田区千代田の日本労働組合会館において開催された。この大会は、労働組合の発展と労働者の権利の擁護を目的として、全国各地から労働組合の代表者が集まり、重要な決議を行った。

第六回全国大会は、昭和十六年三月に、東京市千代田区千代田の日本労働組合会館において開催された。この大会は、労働組合の発展と労働者の権利の擁護を目的として、全国各地から労働組合の代表者が集まり、重要な決議を行った。

第七回全国大会は、昭和十七年三月に、東京市千代田区千代田の日本労働組合会館において開催された。この大会は、労働組合の発展と労働者の権利の擁護を目的として、全国各地から労働組合の代表者が集まり、重要な決議を行った。

第八回全国大会は、昭和十八年三月に、東京市千代田区千代田の日本労働組合会館において開催された。この大会は、労働組合の発展と労働者の権利の擁護を目的として、全国各地から労働組合の代表者が集まり、重要な決議を行った。

第九回全国大会は、昭和十九年三月に、東京市千代田区千代田の日本労働組合会館において開催された。この大会は、労働組合の発展と労働者の権利の擁護を目的として、全国各地から労働組合の代表者が集まり、重要な決議を行った。

第十回全国大会は、昭和二十年三月に、東京市千代田区千代田の日本労働組合会館において開催された。この大会は、労働組合の発展と労働者の権利の擁護を目的として、全国各地から労働組合の代表者が集まり、重要な決議を行った。

日本労働組合総連合会  
 東京市千代田区千代田  
 日本労働組合総連合会  
 東京市千代田区千代田

中央協議員	大竹 芳太郎 (長崎)
日本労働組合総連合会 役員	長谷川 裕 (同)
委員長	木暮村 俊 音 (神戶)
書記長	山部井 健 次郎 (東京)
中央執行委員	中河川 惣 助 (兵庫)
同	三太 木比一 雄吉 (同)
同	妻辺 島 景 信 一 (兵庫)
同	朝 天 日 島 俊 幸 夫 行 (同)
同	山 大 崎 野 常 登 吉 郎 (兵庫)
同	山 中 野 宗 一 行 (同)
同	山 花 田 多 正 雄 行 (兵庫)
中央協議員	北 川 禮 造 (同)
同	露 久 保 賢 次 (同)
同	坂 本 甚 兵 (同)
同	外一名未決